

さくらやまうつきのいせき

桜山うつき野遺跡 (二次調査)

(逗子市No.90遺跡)

調査期間 20090617～20090715

所在地 逗子市桜山8丁目

時代
縄文
弥生
古墳
近世



作成日：20090624

概要

当財団では、県道 311 号(鎌倉葉山)線、桜山トンネル整備工事に伴う事前の発掘調査を、神奈川県横須賀土木事務所の委託を受けてこの6月中旬から実施しています。

今回の調査は 2003 年度に行った調査に引き続いての二次調査となります。

本遺跡は、京浜急行線新逗子駅の南約 500m、桜山トンネルの逗子側の開口部西側に位置しています。

地形的には、逗子湾にそそぐ田越川と桜山丘陵に挟まれたところに位置していて、丘陵のふもとから田越川に向かって緩斜面上に立地しています。

周囲には桜山丘陵上の国指定史跡長柄・桜山古墳、田越川上流には沖積平野部の持田遺跡、田越川支流の池子川流域に広がる池子遺跡群など、弥生時代から古墳時代にかけての遺跡が多く見られます。

2003 年度に行った一次調査では、縄文時代末から弥生時代にかけての土器や石器、木製品などのほかに動物の骨や植物が腐ることなく見つかりました。

また古墳時代では、溝状遺構や炉の跡、ピットと呼ばれる小さな穴などの遺構が見つかり、遺物では土師器や須恵器などが発見されました。古墳時代で特筆するのは埴輪の破片が発見されたことで、このことは本遺跡が長柄・桜山古墳と何らかの関係があることを示しているのかもしれませんが。

今後、発掘調査は 7 月 15 日までの予定で行います。



▲桜山うつき野遺跡と
長柄・桜山第1号墳・第2号墳
(一次調査の報告「財団調査報告 163」から)



▲調査風景



▲遺物出土状況